

陸上風力発電のゾーニング計画にかかわる今後の課題について

1. 「保全エリア」の設定にあたっての課題

世界遺産候補の構成資産にかかわる眺望景観については、今後、詳細な調査分析を実施し、関係部局と協議を行った上で、適切な範囲を「保全エリア」として追加することを検討する。

2. 「候補エリア」の抽出の進め方について

「候補エリア」の抽出に際しては、事業性及び環境配慮に関わる事項等を調査し、大縮尺の図面（1/2.5 万～1/5 万程度）を用いて、エリアの検討を行う。

今後、実施する調査内容と方法案について表に示す。

表 1 陸上風力の候補エリアの抽出に際して実施する調査（案）

区分	調査内容	調査方法
事業性に関する事項	系統制約	九州電力へのヒアリング
	容量に空きのある送電線からの距離	資料調査
	風車を輸送できる幹線道路からの距離	資料調査
	滑石や石炭採掘の鉱業権	資料調査
環境配慮に関する事項	住居からの距離	資料調査、ヒアリング
	環境配慮施設からの距離	資料調査
	教会群及びその構成要素などの「景観資源」、「主要な眺望点」、「眺望点からの景観」に関わる調査	資料調査、ヒアリング、 現地調査
	主な渡り鳥のルート	現地調査
その他	国有林/保安林	ヒアリング
	保安林（民有林）	ヒアリング
	農地利用の見込みが低い耕作放棄地	資料調査、ヒアリング調査
	利用見込みが低い市有地	資料調査